

令和7年度 医師・看護職員の負担の軽減及び処遇の改善にかかる取組み

国立病院機構菊池病院

1. 医師・看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する体制

項目	体制
1) 医師・看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する責任者	院長：山下 建昭
2) 医師・看護職員の勤務状況の把握	①勤務時間：38時間45分 ②2交替勤務に係る配慮：勤務後の暦日の休日の確保 ③3交替勤務に係る配慮：夜勤後の暦日の休日の確保 ④16時間未満となる夜勤時間の設定
3) 多職種からなる役割分担推進のための会議	①医師・看護師等の負担軽減検討委員会 ②タスクシフト会議など随時開催 ③当該病棟における業務分担会議
4) 医師・看護職員の負担軽減及び処遇改善計画及び評価	①計画策定 ②職員に対する計画の周知・評価：医師・看護師等の負担軽減検討委員会

2. 医師・看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組み計画

項目	目標達成年次	具体的な取組み内容
1) 診断書、意見書等の代理作成の促進	実施済み (令和7年度も継続)	作成依頼の全てにおいて、事務職員による代理作成、介入を行い、介入率90%以上を維持する。
2) 業務量の調整	①実施済み (令和7年度も継続) ②新規 (達成年度を含めて検討)	①時間外勤務が生じないように業務改善、業務の効率化への各取組み実施。 ②電子カルテを活用した業務改善の検討。
3) 多職種との業務分担	実施済み (令和7年度も継続)	多職種が協力し、業務の分担、協同を行う。 ※業務委託契約更新時の調整
4) 看護補助者の配置	実施済み (令和7年度も継続)	クラークによる入院時書類準備、面会者対応。
5) 多様な勤務形態の導入	実施済み (令和7年度も継続)	早出・遅出・育児短時間勤務等、夜勤免除等の制度の活用。
6) 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	実施済み (令和7年度も継続)	ワークライフバランス応援ガイドブックの配置と周知と活用状況の確認。
7) 職員の勤務環境改善	実施済み (令和7年度も継続)	①心理的安全性が高い組織を目指す。 患者サービス向上委員会を主とした「お互いが話しやすい、声をかけやすい職場づくり」への取組み。 ②年次有給休暇が取得しやすい環境づくり。 ③夜勤回数 3交替は8回以内、2交替は4回以内。